

一九四一年六月には一千四百七千手榴弾、同年九月には一千九百二十四発が増加。本年五月には

一枚の手榴弾より、毎年大爆破の軍械製造量よりも大きくなつてゐる。

### 毒火砲、彈薬その他の

毒砲及び毒氣彈は現在一ヶ月約二千門（兩者を合しての数ならん）の割合で生産されてゐる。輕機関銃は一ヶ月五萬挺ずつ以上の需要である。毒煙彈及び火砲併用彈薬の製造は新設工場の作業開始により昨年の生産量を比して著しく増加してゐる。單足火薬は毒性強烈な物で、本年十二月に既し五倍の生産率を示してゐる。

### 火薬

本年六月末迄に契約權限を既與された製薬は一千七百億ドルであつて。これに六月廿日現在議會に於て審議中のもの又は議會を通じたが大統領の署名未済のものと合すれば、その總計は約二千三百五十億ドルに達する。

一九四〇年六月以来本年五月迄に契約又は委員會を通じたが大統領の署名未済のものと合すれば、その總計は約二千三百五十億ドルに達する。

### 非鐵金屬諸資材

マンガン、白銀、銅などの重要資材の生産は増加してあるか、需要を満足に充分ではない。その不足は今後重視化する虞れがある。

## 海外特務情報 第三十二號

昭一七・九・一九出

情報局第一部第二課

### ◎飛行機搭載潜水艦

#### 日本のみ十六・七隻所有

U.P.（東洋向）ロワシントン十六日發 海軍専門家の意見による。日本海軍はオレゴン洲に焼夷彈を投下した型の水上機を搭載し得る潜水艦を少くとも十六隻乃至十七隻もつてゐる。然し斯る潜水艦搭載機は爆彈積載能力が小さい。そこでこれを攻撃する敵側の戦闘機に極めて容易に捕捉されるために「敵を惑亂するだけの價値しか有しない。米國海軍では一九二三年世界大戰の潜水艦を飛行機搭載艦に改築したが、その結果はかゝる飛行機が非實用的であることを立證したので、それ以後ある企ては行はれなかつた。尚ドイツにも、英國にも飛行機搭載潜水艦が出來たとの報道はない。

### ◎大東亜省と外相更迭に關する重慶側解釋

中央社上重慶十四日發

前陸日中國大使館參事官で現重慶外交部東亞局長楊善竹は十四日「東郷茂徳辭職の眞相と大東亞省」を題する左の如き特別論文を中心日報に寄稿した。

昨年十月東條首相は東郷を外相に任命したが、それは東郷が親獨的である爲ではない。東郷は権力國との同盟を欲しなかつた。東郷は駐ソ大使を勧めて居りソ聯にも受けがよいので、彼をして對ソ友好關係を樹立せしめその傍ら東條は米英の對日包圍開拓の急務に迫られてゐるため對英米戰の準備を必要とするこの意味であつた。この事はソ聯通の西春彦を次官に据えたことによつて更に明らかとならう何故ならば、當時東條は對英米に全面攻撃を行ふ前に若干の準備期間が必要だつたので、そのカモフラージュとして穩健派として知られてゐる東郷は正に理想的な人物だつた譯である。故に太平洋戰爭勃發と共に東郷の價値は半減してしまつた。

東郷は日本が同時に多面戰争に從事するのを回避するため日ソ關係維持に努力を拂ひ、そのためには佐藤尙武駐ソ大使を推薦したのであつた。しかしながら佐藤はソ聯が英米と手を組むことを防ぎ得ず。且つ日ソ中立條約は依然効力を有するこの數字に亘る東郷聲明に對するソ聯當局の返答をへ得ることが出来なかつたのである。茲で我々は日本の急進派はシベリアより對日脅威を排除せんため對ソ電擊戰を希望してゐり、常に東郷、佐藤の親ソ政策には反対してゐる事實を看過し得ない。

この問題における東郷の辭職は直ちに日本の對ソ進攻を意味するに考へることは無理であるかも知れぬ。しかしゆくとも當分の間はソ聯に對し政治攻撃を行はんとするジエスチアに併てることが出來よう。日支事變以來日本の外務省と軍當局とは傳統的に對立してゐり、軍部は常に外務省の権限を制奪せんとしてゐるが、この最初の現象は一九三七年廣田弘毅字垣一成が軍部の興亞院設立案に反對して辭職した時でありその次第には一九三九年九月外務省が外務省の通商局を貿易省内に嵌入せしめる案を含む軍部の國內行政刷新案に反對した時である。

第三回目は所謂大東亞省新設に關する軍部と外務省の抗争で、大東亞省は六四省に當るの極地を殆んど残さないので東郷は辭職するより外致し方がなかつたのである。日本の軍部が海外に外交官を輕視し、何か機會ある毎にこれを攻撃するといふことは注目に値する事實である。自由主義に傾いてゐる正統外交派は外交機關を通じての交渉を希望してゐる。

東郷は今や眞の日本の獨裁者である。東郷の辭職によつて第一に東條はソ聯に、しかもつて行動する事が出來やう。東條は今や日ソ中立條約を破棄するか、又はソ聯に對して政治攻撃を強化するであらう。第二には東條は外務省の活動權限を更に縮少し日本の外交を完全に軍部の手中に委ねるであらう。東條は東郷を追出したため日本外交官の支持を得ることで出來ず、また東郷の退陣は自由主義の絶滅を意味する。日本は太平洋戰争を歐洲戰争と同様に見るところが出來ず、大東亞省の設置によつて長期戦への準備を強化せんとするものであ

るが、斯かる準備はその結果を收めるとは出来ないであらう。

◎スポーツ。ゲームに代る戦争ごっこ

新學期の米小學生

米通信（重慶向） リニユードク十五日發 十四日新學期が始つて見る。米國の小學生達は休暇中に大變な戦争熱に浮かされて學校に歸つて來た。子供達は砲丸投げたり手榴弾投げを習ひボクシングの代りにステッキを持つて銃剣術をやる云々騒ぎ。今迄のスポーツ。ゲームはやがて戦争に必要な筋肉の練成上壁登り、壁登り、背囊を背負つたまゝでの水泳、落下氷下鉢降下に似た高い所からの飛び下りといふことに取つて代られることにならう。ハイスクールでは二年前から特別の準備軍事教育及び飛行準備教育を全生徒に課してゐるが、この特別軍事教育の學課中には機械學、電氣作業、ラジオ及び自動車の機械學等が含まれ、飛行準備教育の課程には特殊數學、理學、空氣動力學、發動機、氣象學、航空學等を含んでゐる。教學及び諸科學に於ける諸問題は直接空軍及び機動戰に關聯する譯である。女生徒達本來やはりこの戰時教育の影響を受けてゐる。彼女等の育兒法、料理法、栄養研究などに對する女性自然の關心もさうは戰時色をもつてゐらう。

◎日本軍ダ島奪回を企圖

激戦展開中と米發表

ロイター＝ワシントン十六日發

米海軍省發表の要旨

日本軍はソロモン群島東南部のダカナル島を奪回せんとして更に強烈な作戦を開始したが、米陸戦隊は依然日本軍は過去五日間に飛行機廿五機を失つた。日本軍増援部隊は夜間に乘じて米軍の占據してゐる地域に對する上陸に成功し、九月十三、十四日の兩日に同地の飛行場を奪取せんとして、激戦展開中である。米空軍はダカナル島の北部及び西北部の日本軍基地に反撃を加へたが日本軍は益々兵力を増強して米軍に壓力を加へてゐる。米陸軍空軍はダカナル島附近で零戦機、機関銃機を墜落し、又ギザー島の日本軍基地をある。日本水上機を攻撃しその一機を破壊して他に損傷を與へた。

◎太平洋軍事會議東亞情勢検討